

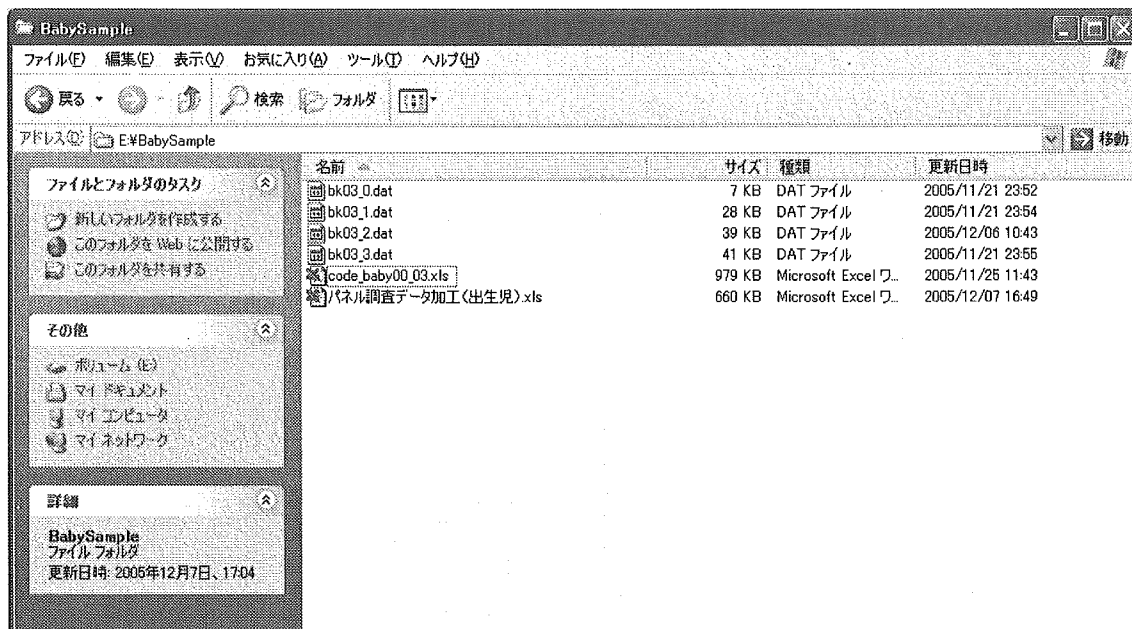
0. はじめに

この操作マニュアル資料はパネル調査データベースのデータ作成手順について説明しています。以降は出生児調査を例にデータ作成の手順を説明します。

1. データ作成のための準備

1. 1 ファイルの確認

調査票データ・変換記述表・データ作成ツールの各ファイルがあることを確認します。



● 図 1-1-1 実行フォルダ内のファイル (例) 出生児調査

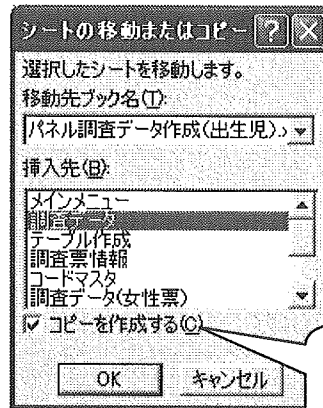
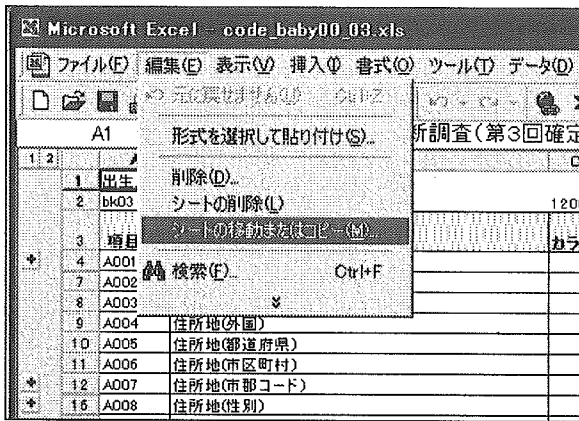
パネル調査データ作成ツールをダブルクリックします。マクロは有効にして開きます。
変換記述表をダブルクリックします。

1. 2 変換記述表のコピー

パネル調査データ作成ツールをダブルクリックします。マクロは有効にして開きます。
次に変換記述表をダブルクリックします。マクロは無効にして開きます。

データ作成の対象となる調査票の変換記述表をパネル調査データ作成ツールにコピーします。

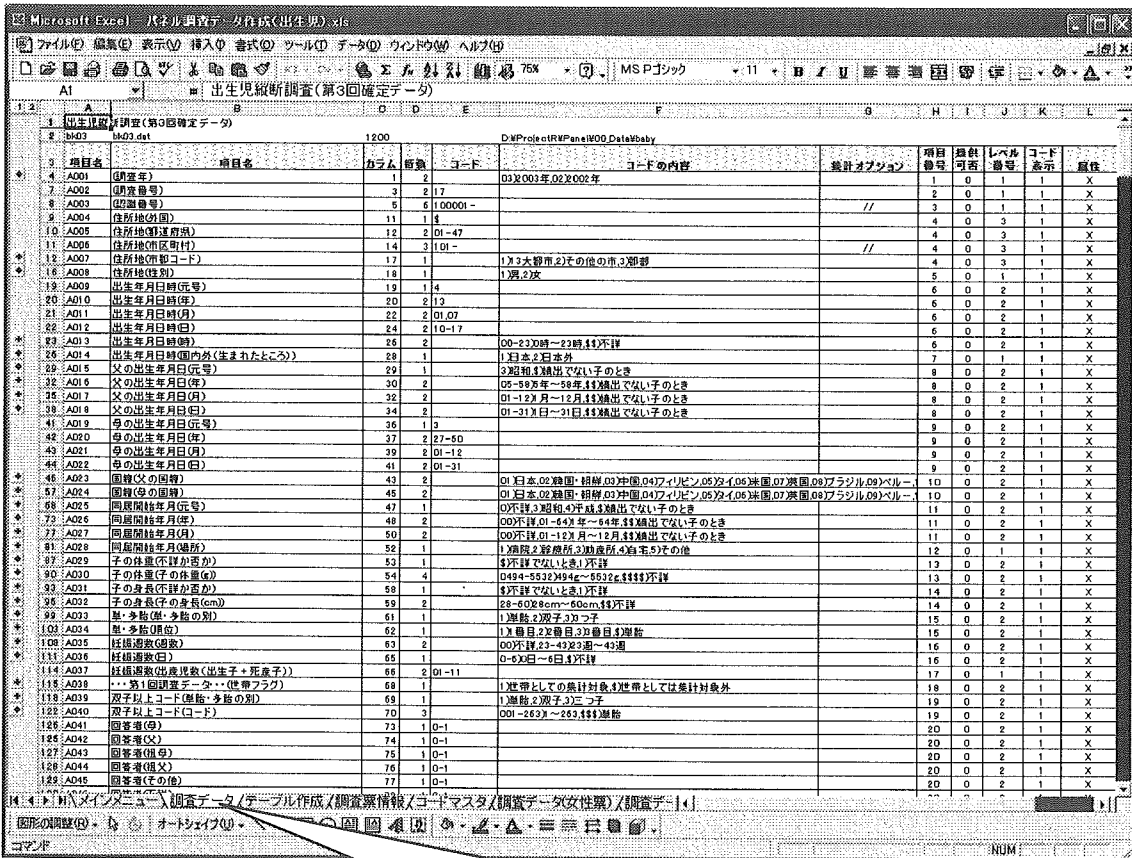
[編集] - [シートの移動またはコピー...] メニューで対象調査の変換記述表をパネル調査データ作成ツールにコピーします。



「コピーを作成する」をチェック

● 図1-2-1 シートの移動またはコピー

コピーした変換記述表のシート名を「調査データ」に変更します。



シート名を「調査データ」に変更します。

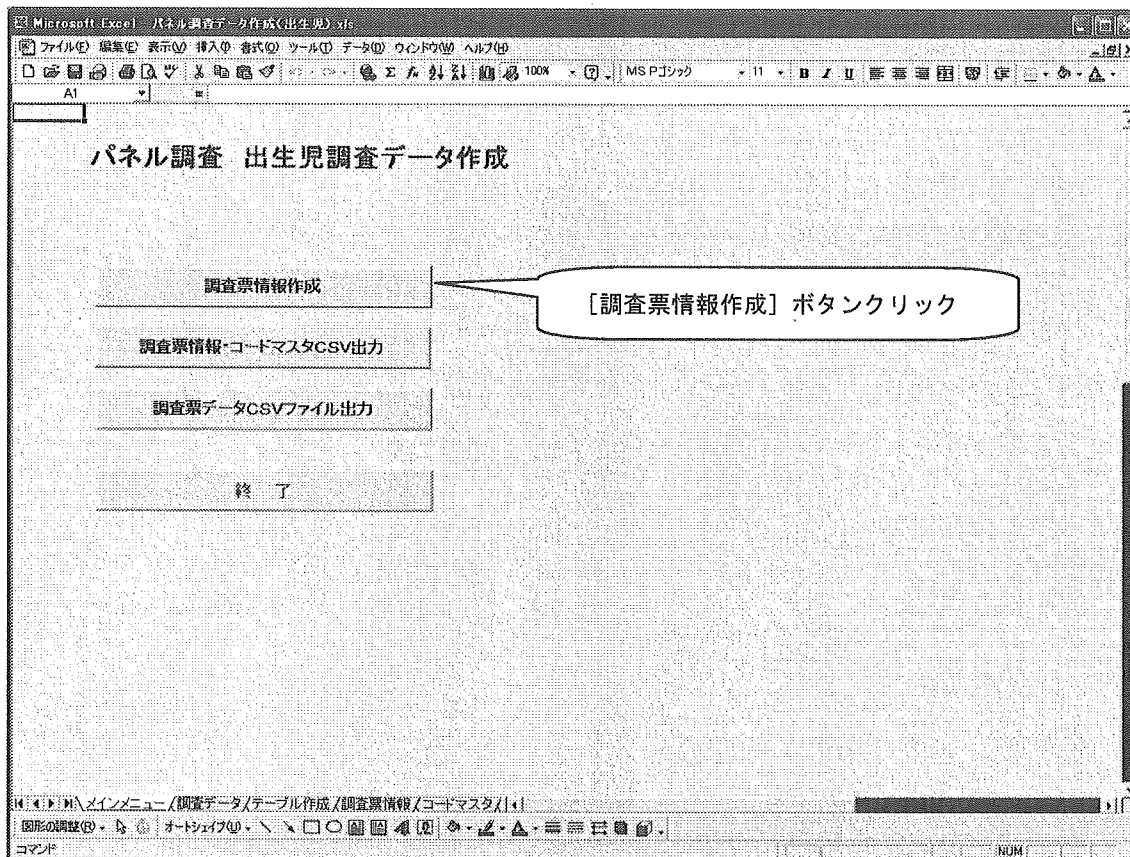
● 図1-2-2 シート名の変更

シート名を変更したらコピー元の変換記述表ファイルを閉じます。

2. 調査票情報作成

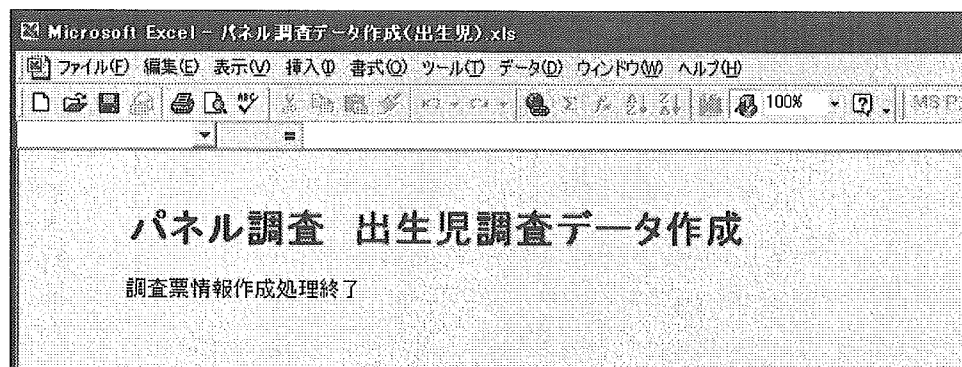
2. 1 作成処理の実行

[メインメニュー] シートの [調査票情報作成] ボタンをクリックします。



● 図 2-1-1 メインメニュー

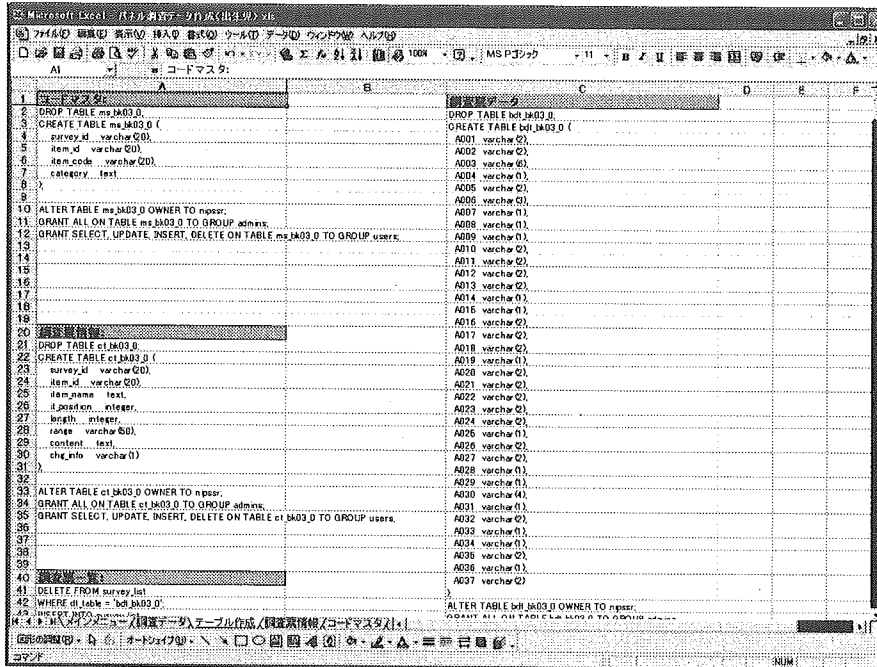
処理が終了したら「調査票情報作成処理終了」のメッセージが画面上に表示されます。



● 図 2-1-2 「調査票情報作成処理終了」メッセージ

2. 2 結果の確認

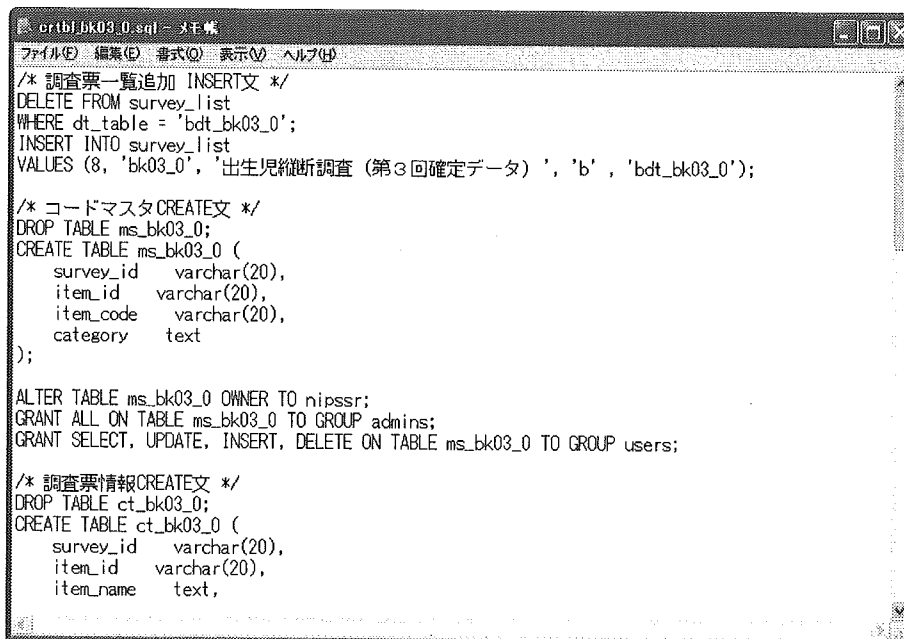
[テーブル作成] シートに CREATE TABLE 文が出力されていることを確認します。



● 図 2-2-1 [テーブル作成] シート CREATE TABLE 文の例

同じ CREATE 文が、ツールを実行しているフォルダ配下に SQL ファイル「crtbl_ (調査票番号).sql」が出力されます。

例) 調査票番号が bk03_0 の場合「crtbl_bk03_0.sql」となります。



● 図 2-2-2 SQL ファイル「crtbl_bk03_0.sql」

調査票情報およびコードマスタが「調査票情報」シートおよび「コードマスタ」シートに出力されていることを確認します。

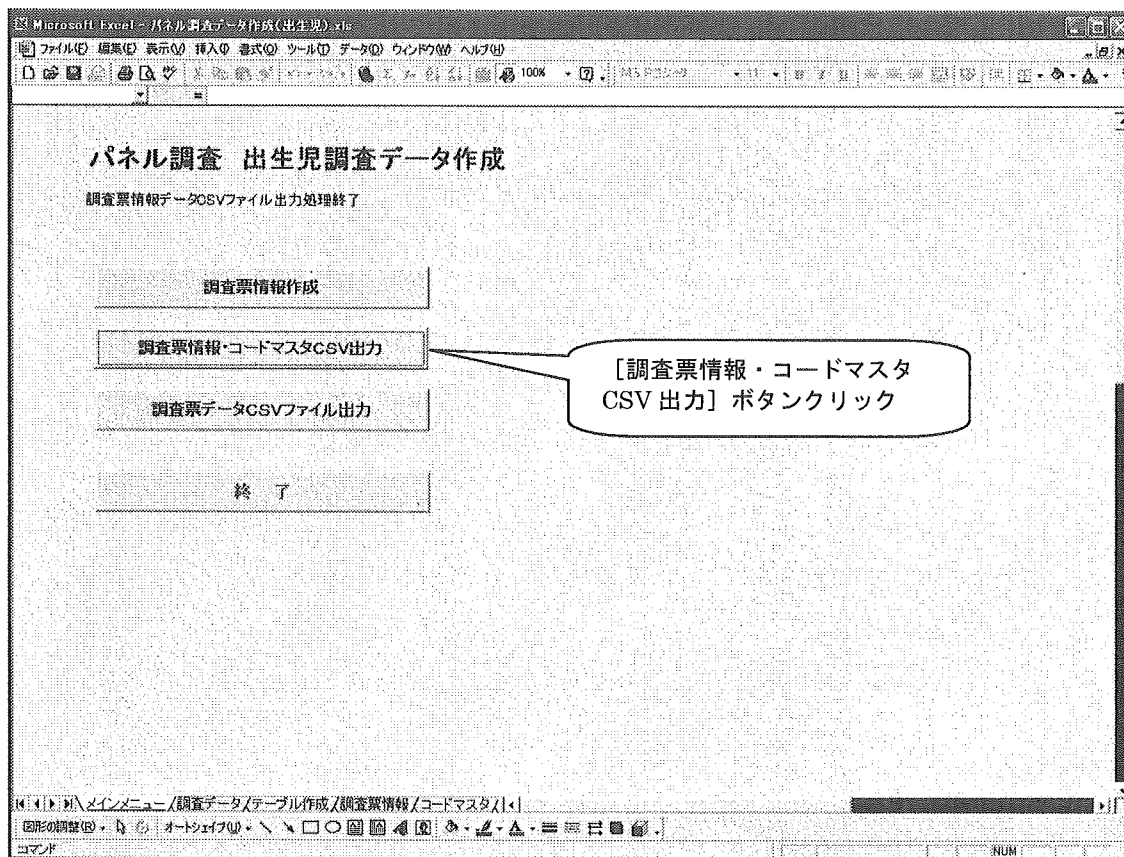
コード番号	項目名	属性	値	注	列挙	実数値
A001	調査票番号	1	2		012007年012002年	56
A002	性別	2	2			56
A003	世帯番号	5	6	000001		56
A004	住所コード	11	1			56
A005	住所種別	12	2	01-47		56
A006	住所種別(別荘)	14	2	01-01		56
A007	住所種別(別荘)	17	1		1334番所以下の後の前3桁	56
A008	出生年月日(年)	18	1		1桁のみ	56
A009	出生年月日(月)	19	1			56
A010	出生年月日(日)	20	2	01-0		56
A011	出生年月日(年)	22	2	01-07		56
A012	出生年月日(月)	24	2	01-0-17		56
A013	出生年月日(日)	25	2		00-12月-12日 1桁のみ	56
A014	出生年月日(年)	28	1		1桁のみ	56
A015	出生年月日(月)	29	1		2桁のみ	56
A016	出生年月日(日)	30	2		00-12月-12日 1桁のみ	56
A017	出生年月日(年)	32	2		00-12月-12日 1桁のみ	56
A018	出生年月日(月)	34	2		00-12月-12日 1桁のみ	56
A019	出生年月日(日)	36	1			56
A020	出生年月日(年)	37	2	01-60		56
A021	出生年月日(月)	39	2	01-12		56
A022	出生年月日(日)	41	2	01-31		56
A023	出生年月日(年)	42	2		01-12月-12日 1桁のみ	56
A024	出生年月日(月)	45	2		01-12月-12日 1桁のみ	56
A025	出生年月日(日)	47	1		01-12月-12日 1桁のみ	56
A026	出生年月日(年)	48	2		00-12月-12日 1桁のみ	56
A027	出生年月日(月)	50	2		00-12月-12日 1桁のみ	56
A028	出生年月日(日)	52	1		1桁のみ	56
A029	出生年月日(年)	53	1		1桁のみ	56
A030	出生年月日(月)	54	4		1桁のみ	56
A031	出生年月日(日)	58	1		1桁のみ	56
A032	出生年月日(年)	59	1		1桁のみ	56
A033	出生年月日(月)	61	1		1桁のみ	56
A034	出生年月日(日)	62	1		1桁のみ	56
A035	出生年月日(年)	63	2		00-12月-12日 1桁のみ	56
A036	出生年月日(月)	65	1		00-12月-12日 1桁のみ	56
A037	出生年月日(日)	68	2	01-31		56

● 図 2-2-3 「調査票情報」シート

3. 調査票情報・コードマスタ CSV ファイル出力

3. 1 ファイル出力の実行

[メインメニュー] シートの [調査票情報・コードマスタ CSV 出力] コマンドボタンをクリックします。



● 図 3-1-1 メインメニュー

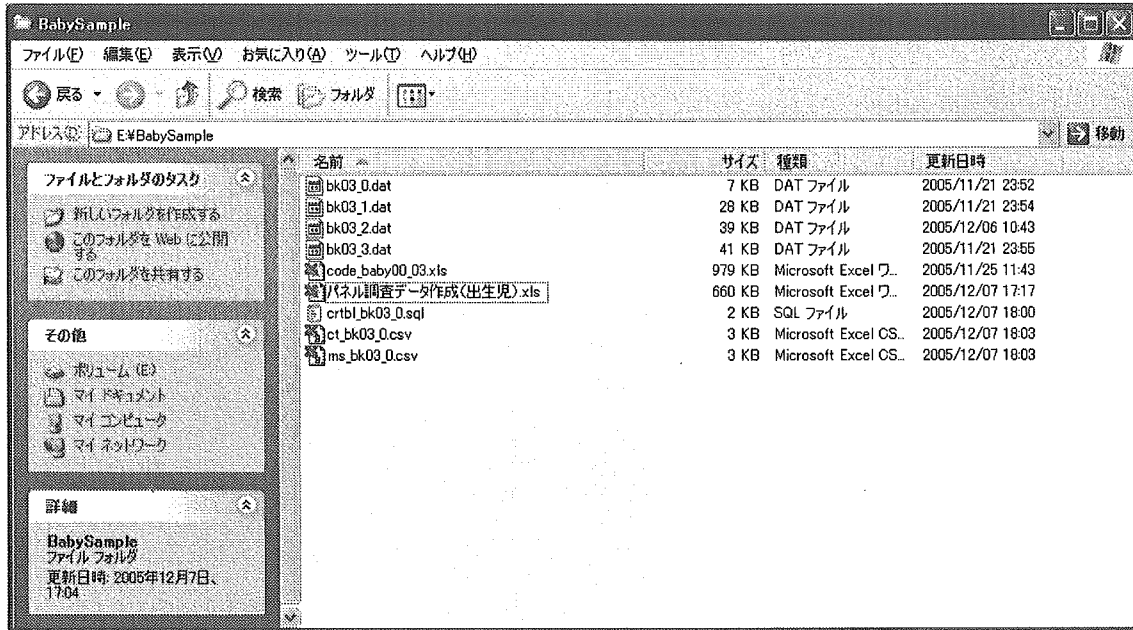
処理が終了すると「調査票情報データ CSV ファイル出力処理終了」のメッセージが画面上に表示されます。

3. 2 出力結果の確認

ツールを実行しているフォルダ配下に調査票情報およびコードマスタの CSV ファイルが出力されます。

- ・ 調査票情報 CSV ファイル：ct_ (調査票番号) .csv
- ・ コードマスタ CSV ファイル：ms_ (調査票番号) .csv

例) 調査票番号が bk03 の場合、それぞれ「ct_bk03.csv」および「ms_bk03.csv」となります。



● 図 3-2-1 調査票情報・コードマスタ CSV ファイル出力後の
実行フォルダ内のファイル

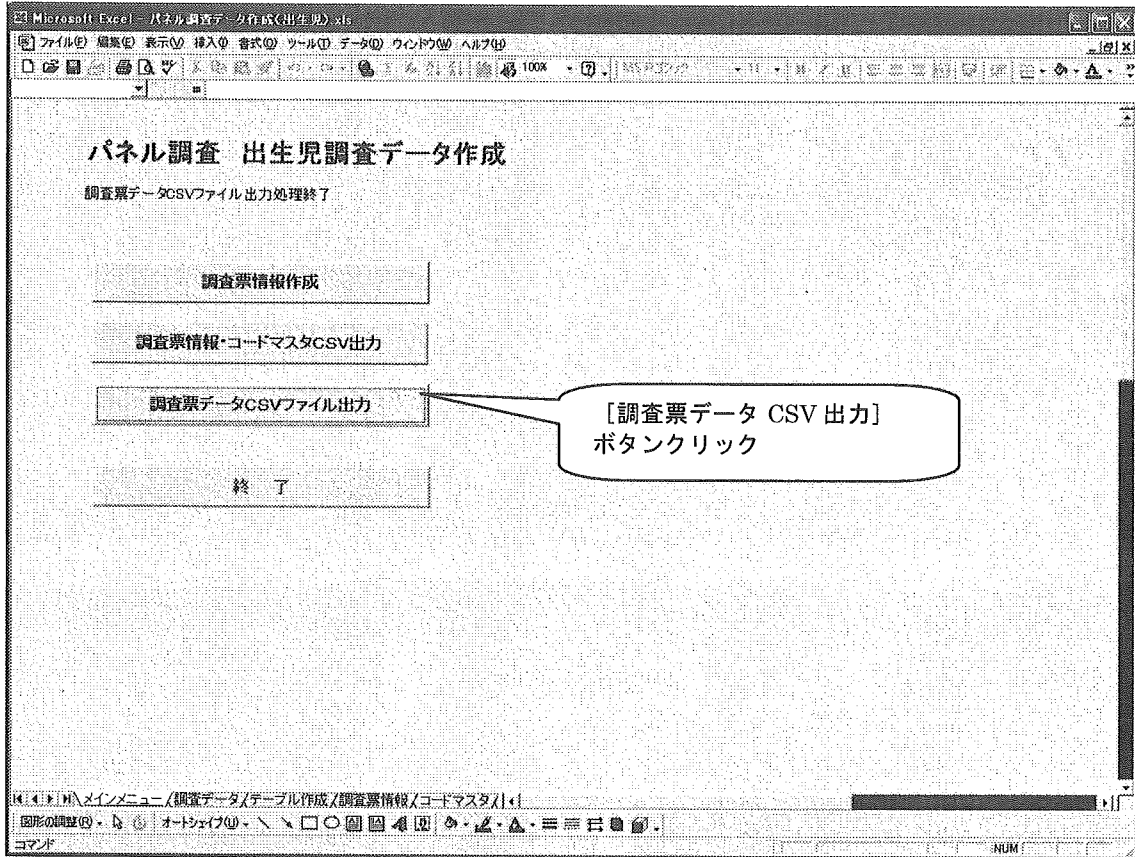


● 図 3-2-2 CSV ファイルの内容

4. 調査票データ CSV ファイル出力

4. 1 ファイル出力の実行

[メインメニュー] シートの [調査票データ CSV ファイル出力] コマンドボタンをクリックします。



● 図4-1-1 メインメニュー

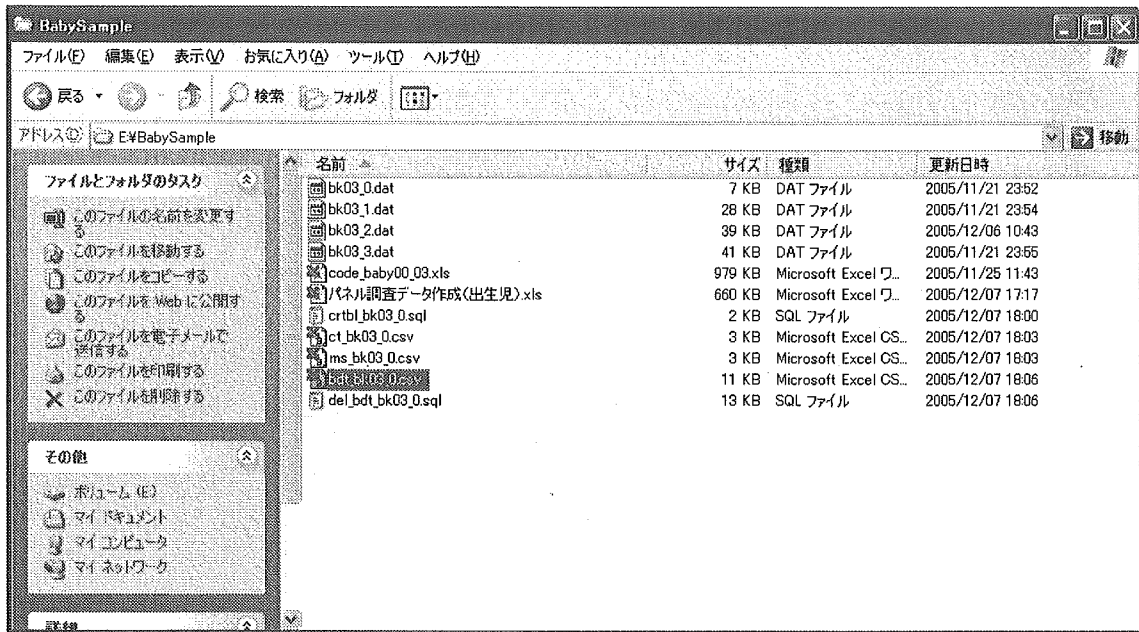
処理が終了すると「調査票データ CSV ファイル出力処理終了」のメッセージが画面上に表示されます。

4. 2 出力結果の確認

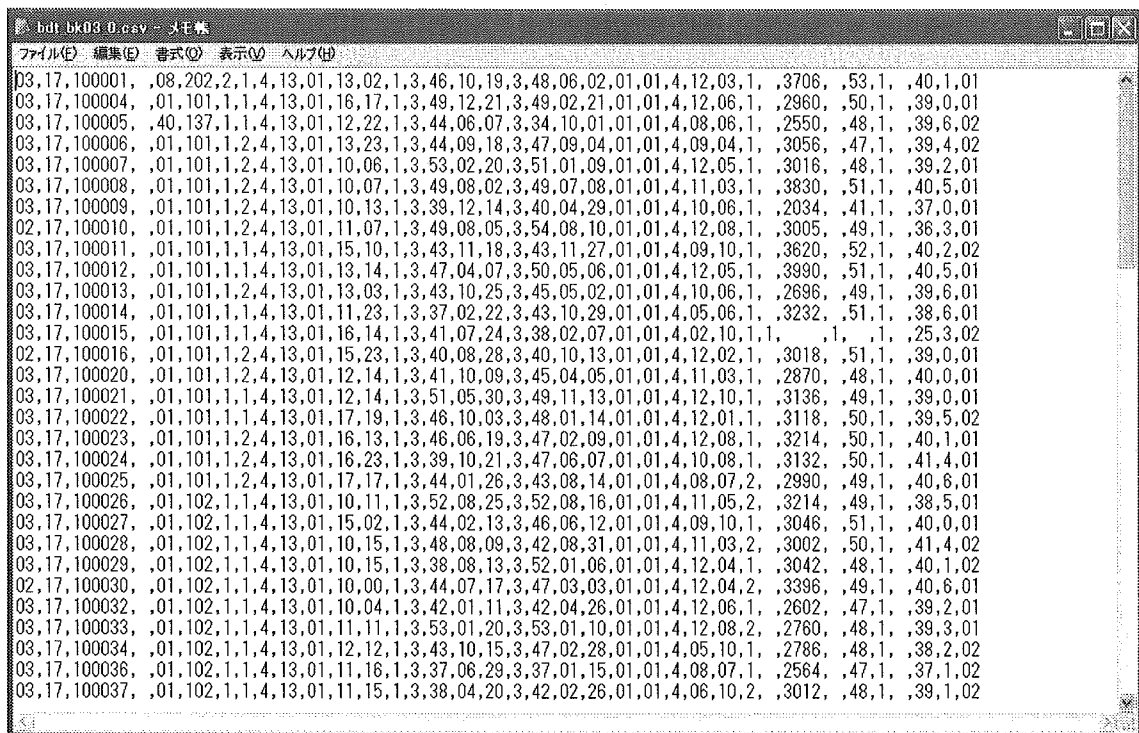
ツールを実行しているフォルダ配下に調査票データの CSV ファイルが出力されます。

- ・ 成年者調査票データ CSV ファイル : `adt_ (調査票番号) .csv`
- ・ 出生児調査票データ CSV ファイル : `bdt_ (調査票番号) .csv`

例) 調査票番号が `bk03` の出生児調査の場合「`bdt_bk03_0.csv`」となります。



● 図 4-2-1 調査票データ CSV ファイル出力後の実行フォルダ内のファイル



● 図 4-2-2 CSV ファイルの内容

ツールを実行しているフォルダ配下にデータ登録前のレコード削除 SQL ファイル「del_adt_ (調査票番号) .sql」が出力されます。

- ・ 成年者調査票データの場合 : del_adt_ (調査票番号) .sql
- ・ 出生児調査票データの場合 : del_bdt_ (調査票番号) .sql

```
del_bdt_bk03_1.sql - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100001';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100004';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100005';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100006';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100007';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100008';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100009';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '02' AND A002 = '17' AND A003 = '100010';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100011';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100012';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100013';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100014';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100015';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '02' AND A002 = '17' AND A003 = '100016';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100020';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100021';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100022';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100023';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100024';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100025';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100026';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100027';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100028';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100029';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '02' AND A002 = '17' AND A003 = '100030';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100032';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100033';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100034';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100036';
```

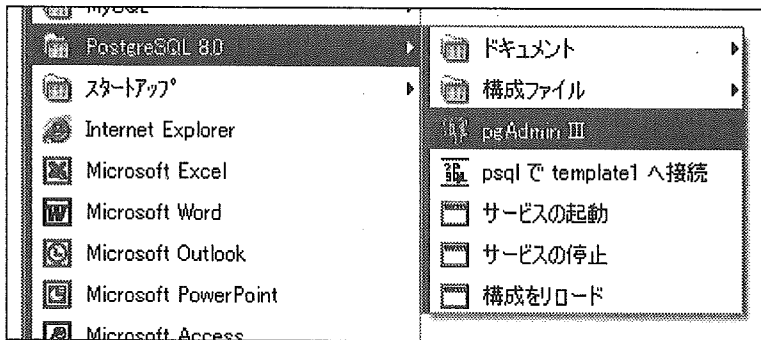
● 図 4 - 2 - 3 SQL ファイルの内容

5. テーブル作成

新しく追加する調査票データの各種テーブルを作成します。

5. 1 PostgreSQL 管理ツール「pgAdmin III」の起動

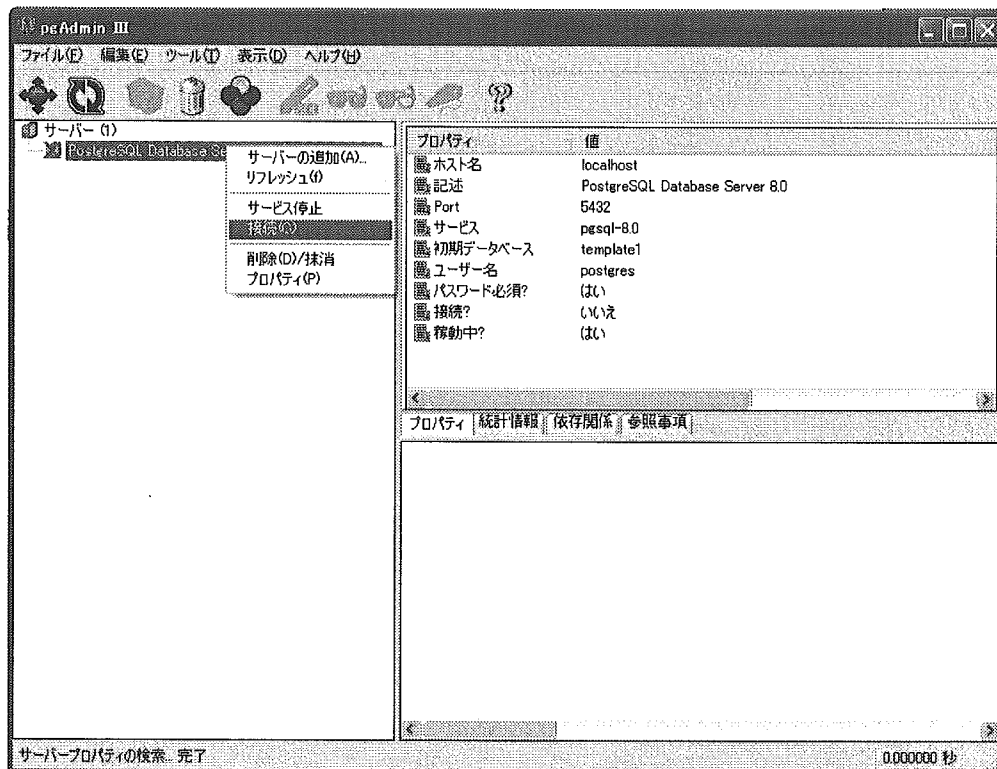
[スタート] - [すべてのプログラム] - [PostgreSQL 8.0] - [pgAdmin III] をクリックします。



● 図 5-1-1 「PostgreSQL 8.0」メニュー

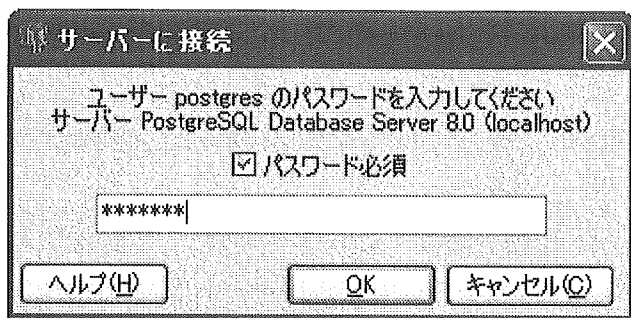
データベースは稼動中ですが、接続していない状態ですので、スーパーユーザーである「postgres」でログインし接続します。

「PostgreSQL Database Server 8.0」を選び、右クリックして [接続] を選びます。



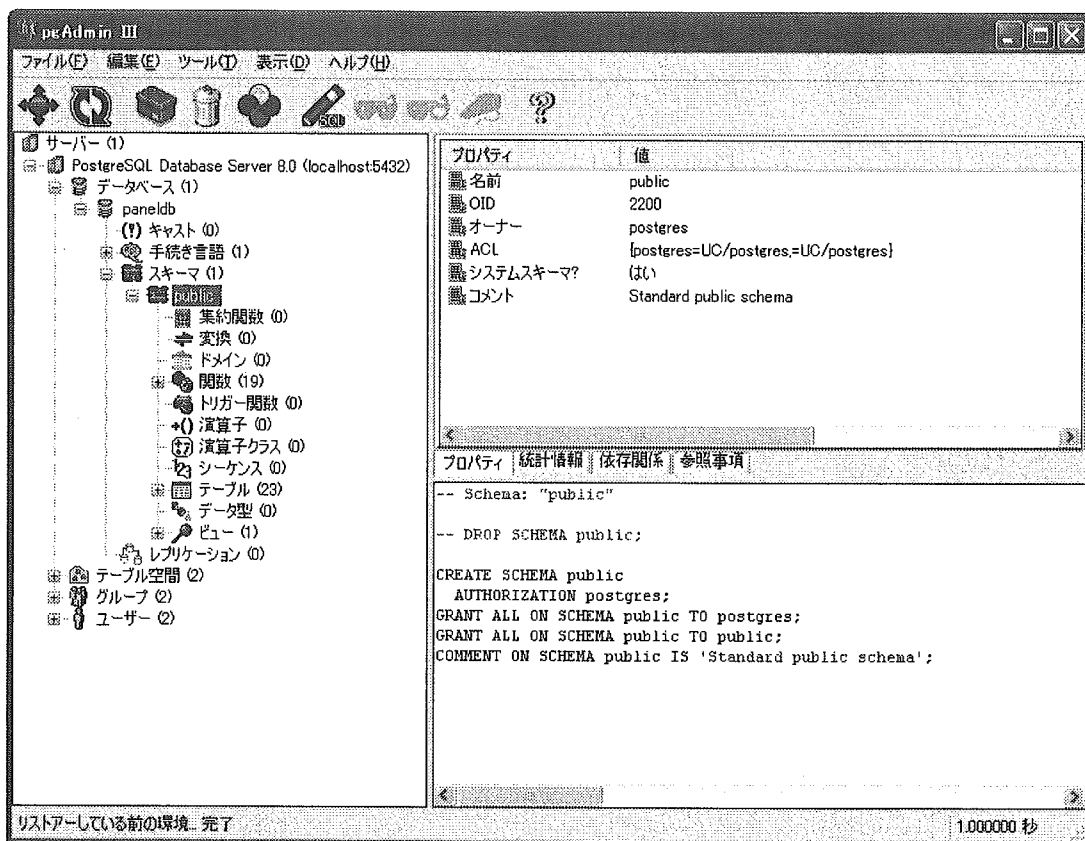
● 図 5-1-2 「pgAdmin III」メインウィンドウ (サーバーへの接続)

パスワード「postgres」を入力し [OK] ボタンをクリックします。



● 図5-1-3 パスワード入力ウィンドウ

接続が完了すると以下のような画面になります。

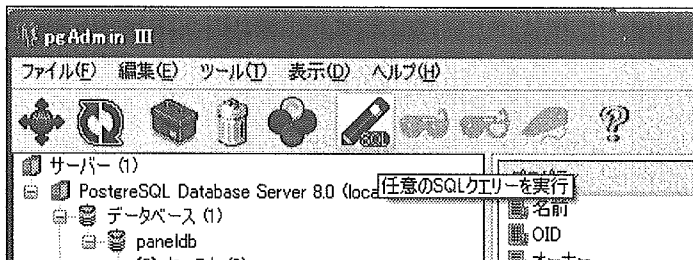


● 図5-1-4 「pgAdminIII」メインウィンドウ (サーバーへの接続後)

5. 2 テーブル作成実行

調査票情報テーブル・コードマスタテーブル・調査票データテーブルの3種類のテーブルを作成します。

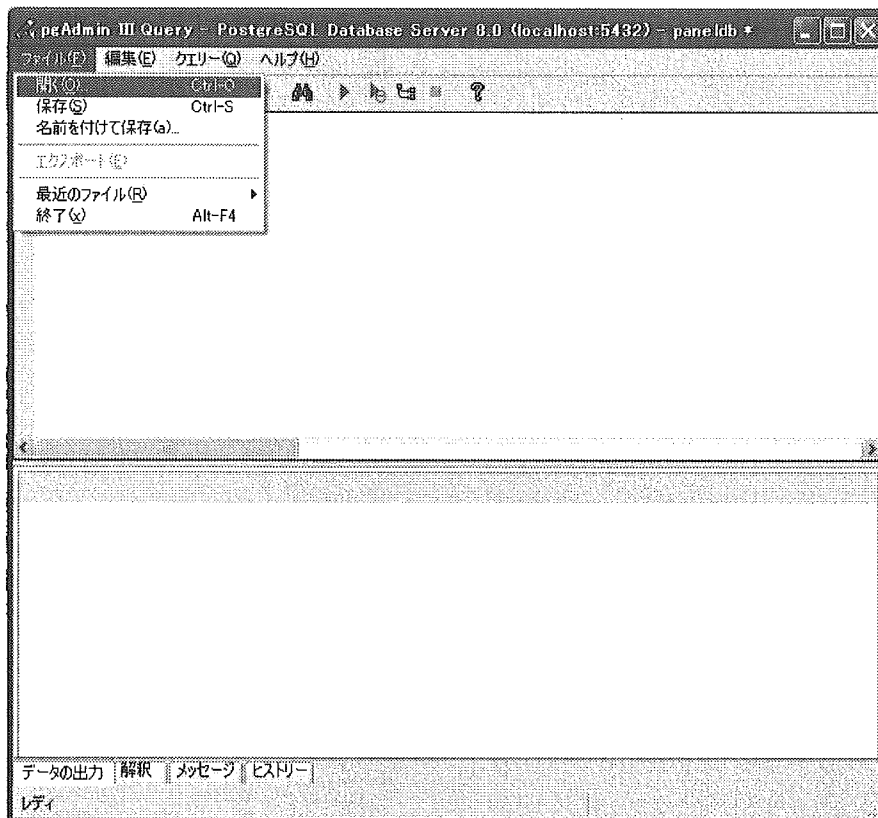
[任意のSQLクエリーを実行] アイコンをクリックします。



● 図5-2-1 [任意のSQLクエリーを実行]

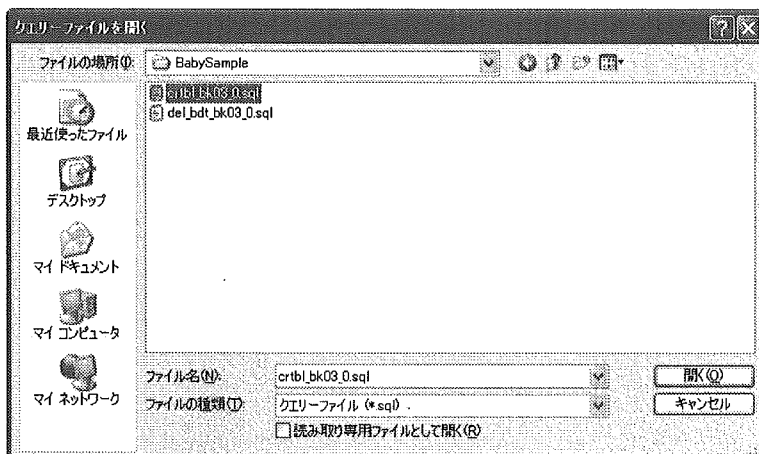
以下の [pgAdminIII Query] 画面が表示されます。

[ファイル] - [開く] メニューを選びます。



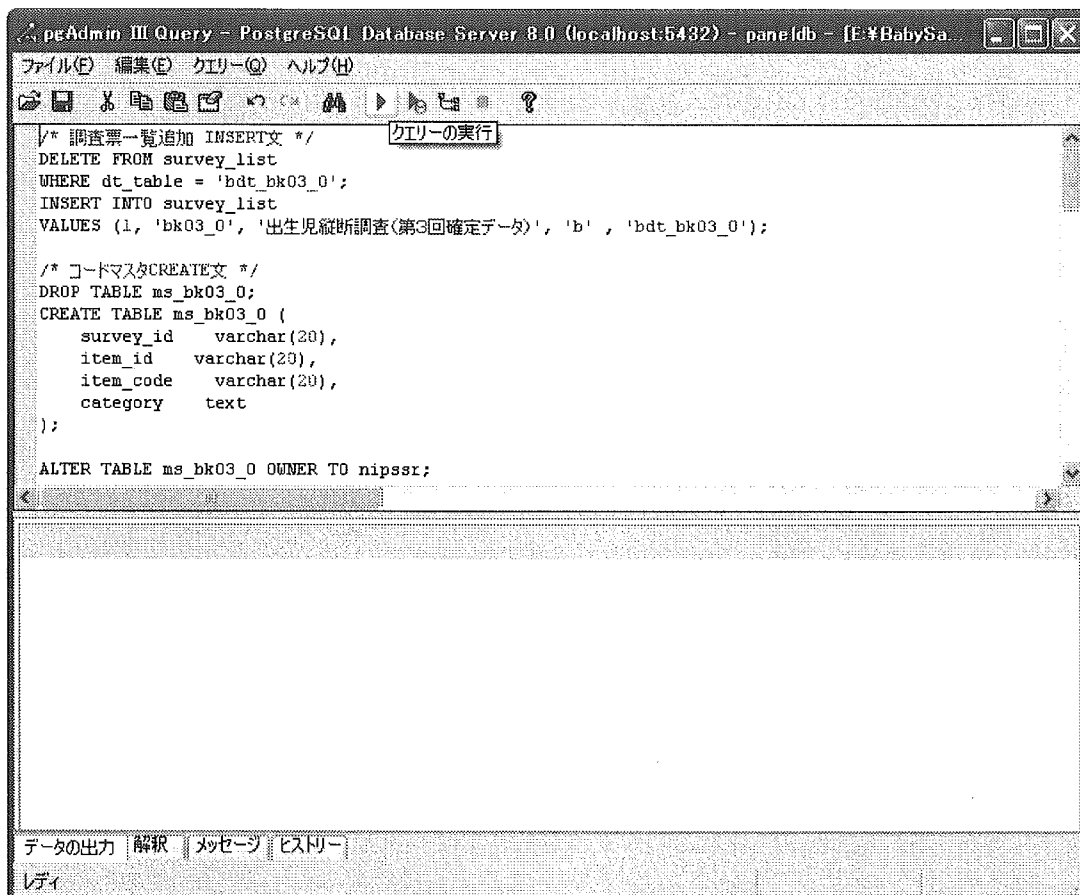
● 図5-2-2 [pgAdminIII Query] ウィンドウ

「2. 調査票情報作成」で作成したテーブル作成 SQL ファイル「crtbl_(調査票番号).sql」を選択し開きます。



● 図5-2-3 「クエリーファイルを開く」ウィンドウ

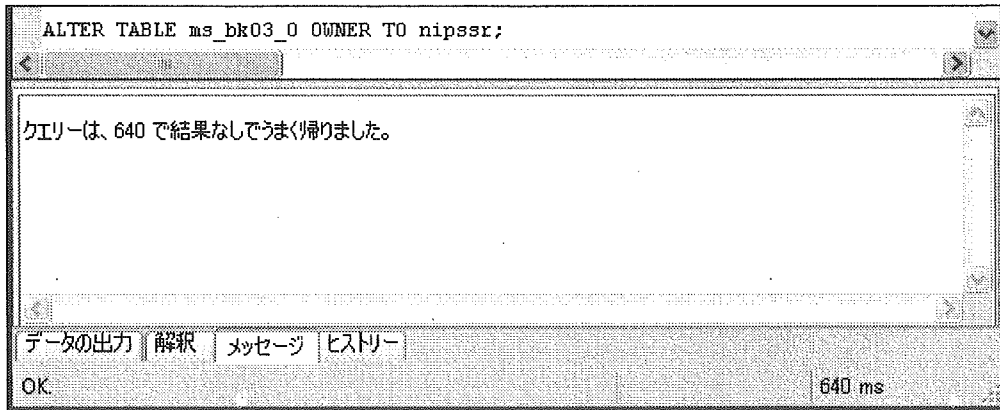
「クエリーの実行」ボタンをクリックし、表示された CREATE 文を実行します。



● 図5-2-4 「pgAdminIII Query」ウィンドウ クエリーの実行

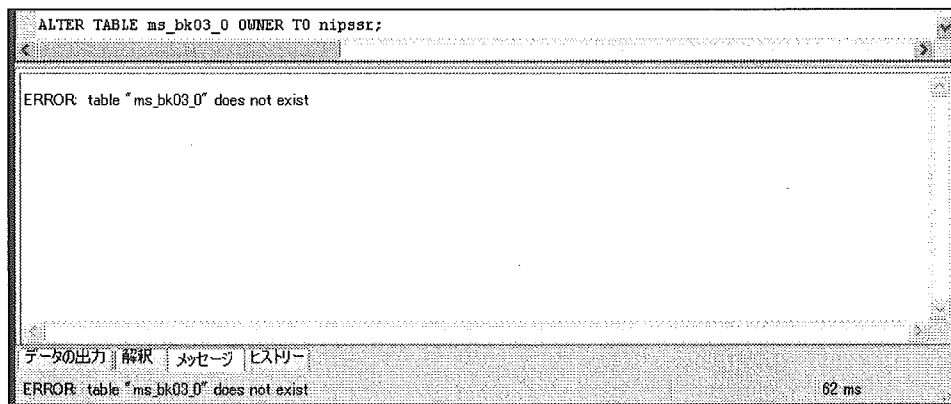
5. 3 実行結果の確認

テーブル作成に成功すれば以下のように表示されます。



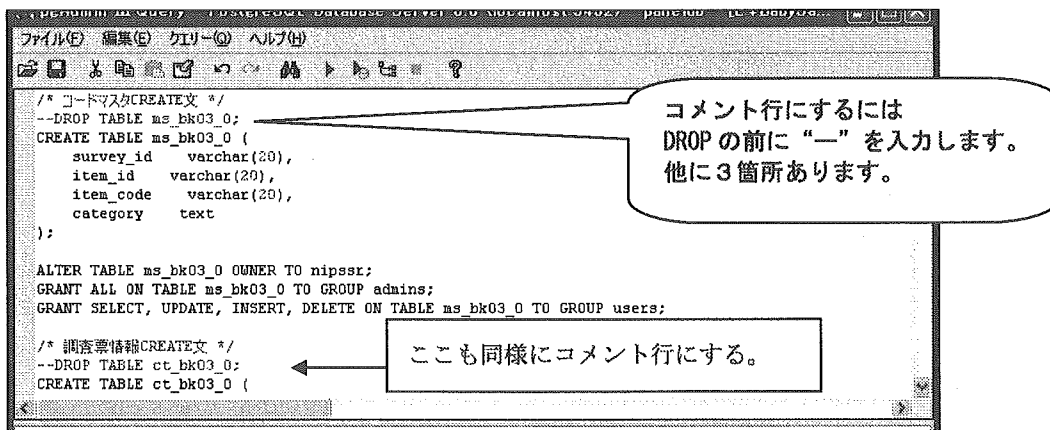
● 図 5-3-1 [pgAdminIII Query] ウィンドウ下段 (結果表示)

以下のようにエラーが表示された場合、



● 図 5-3-2 [pgAdminIII Query] ウィンドウ下段 (エラー結果表示)

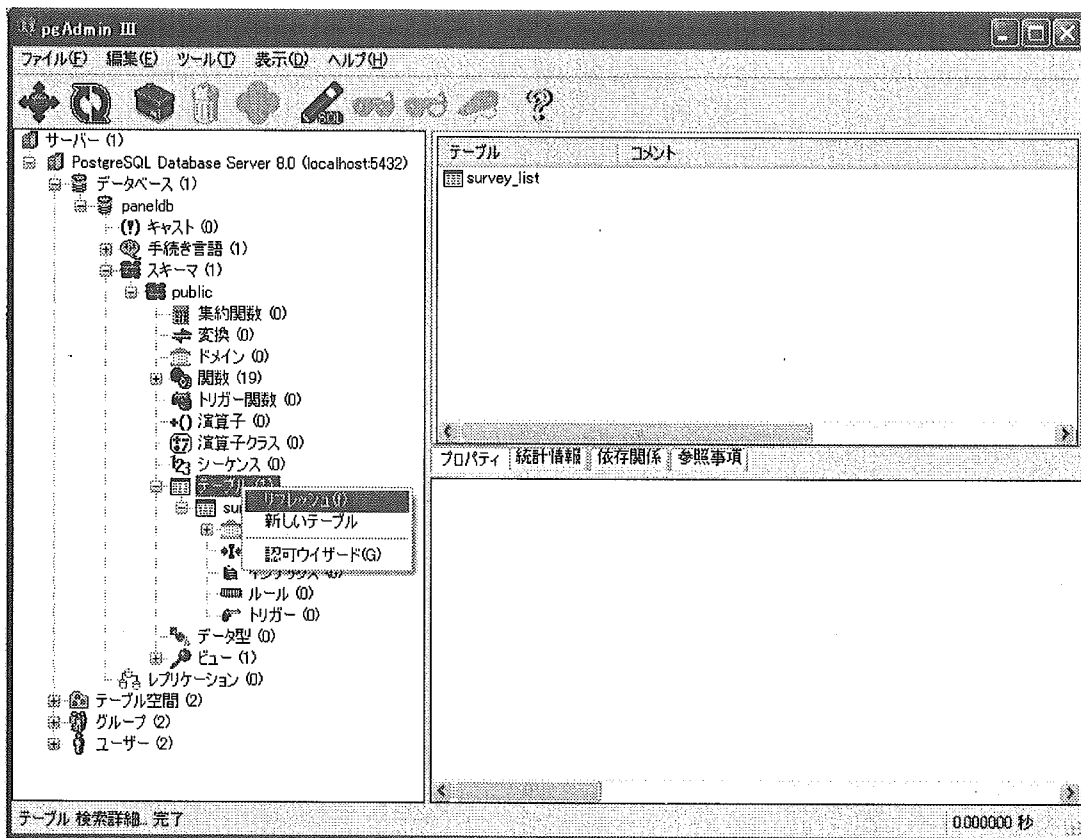
以下のように DROP TABLE 文をコメントにし再度実行します。



● 図 5-3-3 [pgAdminIII Query] ウィンドウ上段 (SQL 文修正)

作成されたテーブルを確認します。

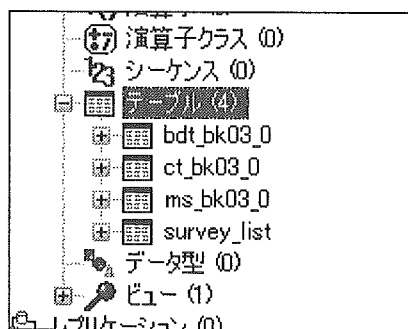
「pgAdminIII」メインウィンドウで「テーブル」を選び、右クリックして「リフレッシュ」を選びます。



● 図5-3-4 「pgAdminIII」メインウィンドウ テーブル情報リフレッシュ

以下のように3種類（調査票情報テーブル・コードマスタ・調査票データ）が作成されているか確認します。

以下の画面例では bdk_bk03_0・ct_bk03_0・ms_bk03_0 の3テーブル。



● 図5-3-5 テーブル一覧

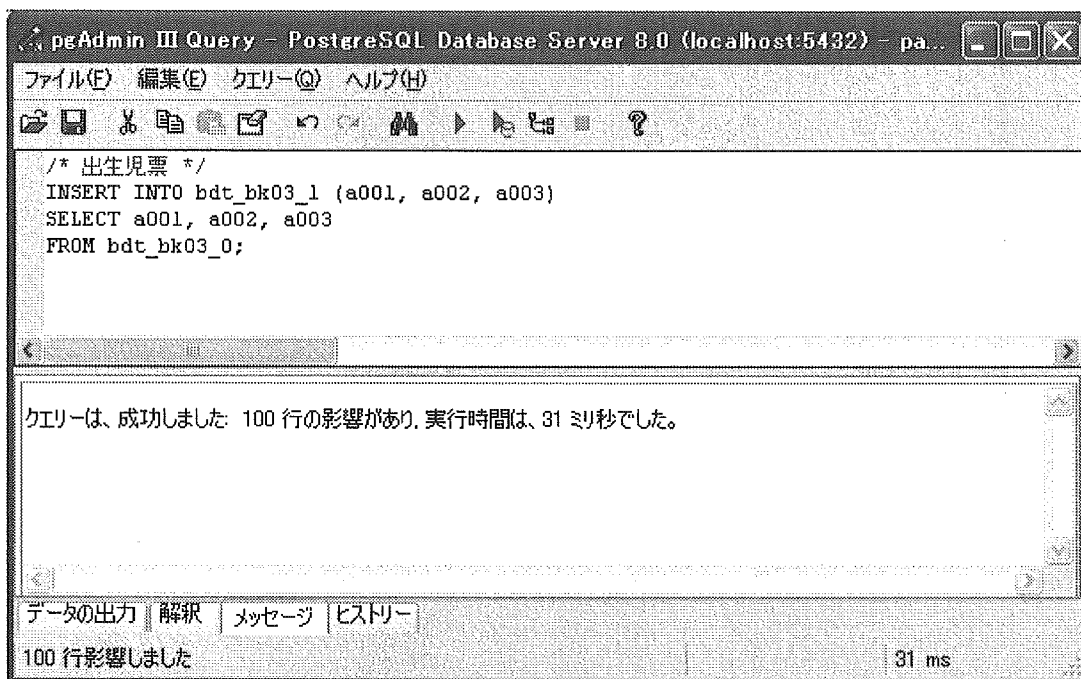
6. データロード

6. 1 初期データ登録

複数回の調査で縦断検索を行なえるようにするため、第2回調査以降では追加する調査票テーブルのレコード数（調査対象者数）を第1回調査のレコード数に合わせる必要があります。

第1回調査の全対象者のキー項目を新しい調査票テーブルのキー項目に登録します。キー項目以外のその他の項目は Null 値として登録されます。

[pgAdminIII Query] ウィンドウを開き、SQL 文を入力しクエリーを実行します。



● 図6-1-1 初期データ登録実行結果

入力する SQL 文は以下の書式に従います。

(1) 出生児調査

```
INSERT INTO bdt_ (新しい調査票番号) (a001, a002, a003)  
SELECT a001, a002, a003 FROM bdt_ (第1回調査票番号);
```

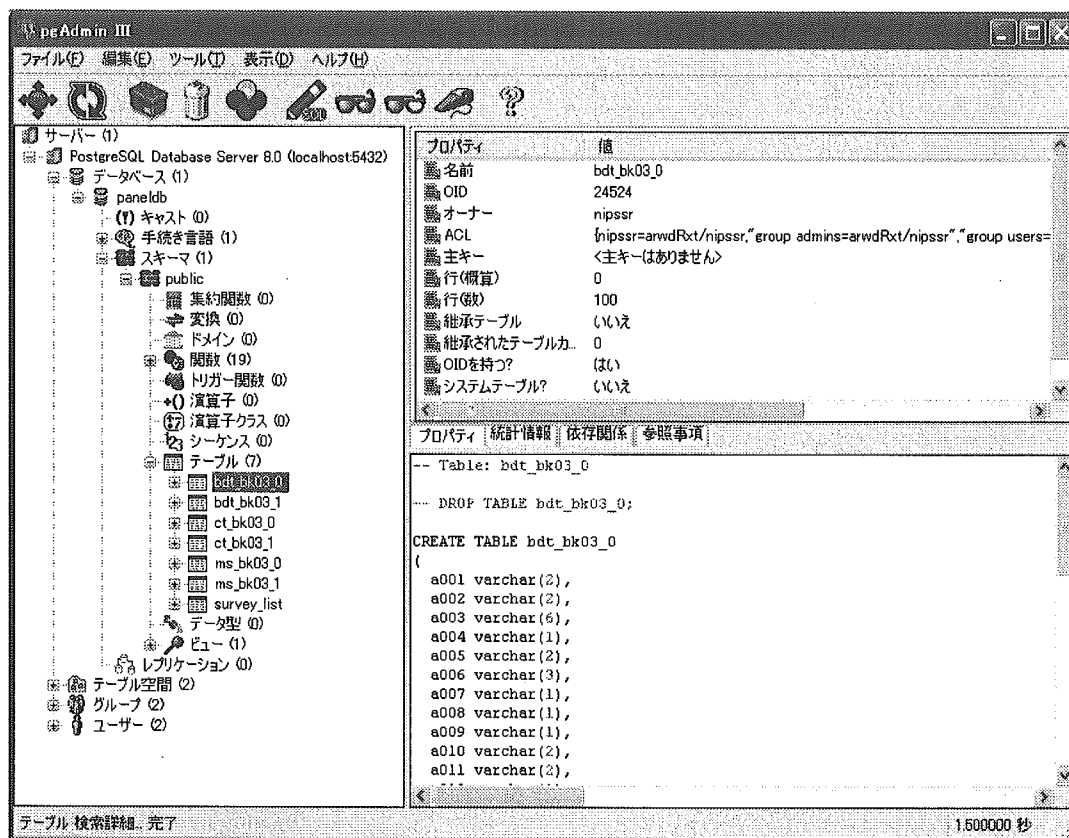
(2) 成年者調査

```
INSERT INTO adt_ (新しい調査票番号)  
(af001, af002, af003, af004, af005, af006)  
SELECT af001, af002, af003, af004, af005, af006  
FROM adt_ (第1回調査票番号);
```

※赤字部分は調査票により異なります。(修正要)

列名は調査票（男性票・女性票・配偶者女性・配偶者男性）により異なる。

「pgAdminIII」メインウィンドウでレコード数などを比較し、初期データが登録されているかどうか確認します。



● 図6-1-2 「pgAdminIII」メインウィンドウ（レコード数確認）

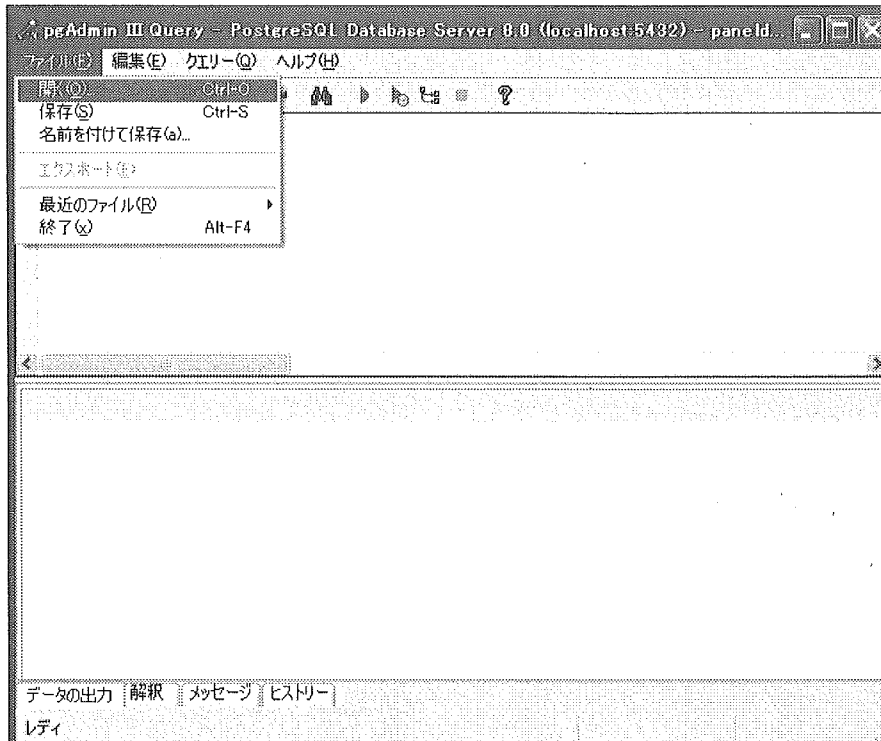
新しい調査票の行数が第1回調査票の行数と一致していれば登録成功です。

6. 2 ロード対象レコードの削除

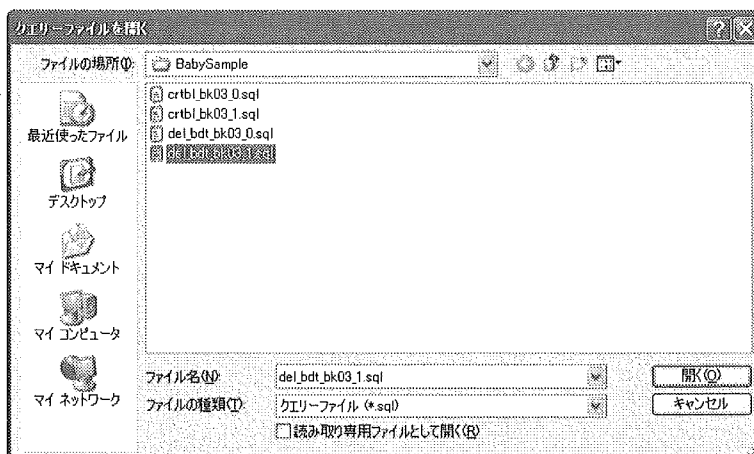
ここでの処理も第2回調査以降必要になります。

「4. 調査票データ CSV ファイル出力」で作成した調査票データを取り込むために、「6. 1 初期データ登録」で登録したデータの中から取り込む調査票データとキーが一致するレコードを削除します。

「4. 調査票データ CSV ファイル出力」で作成したレコード削除 SQL ファイル「del_adt_ (調査票番号) .sql」を開きます。

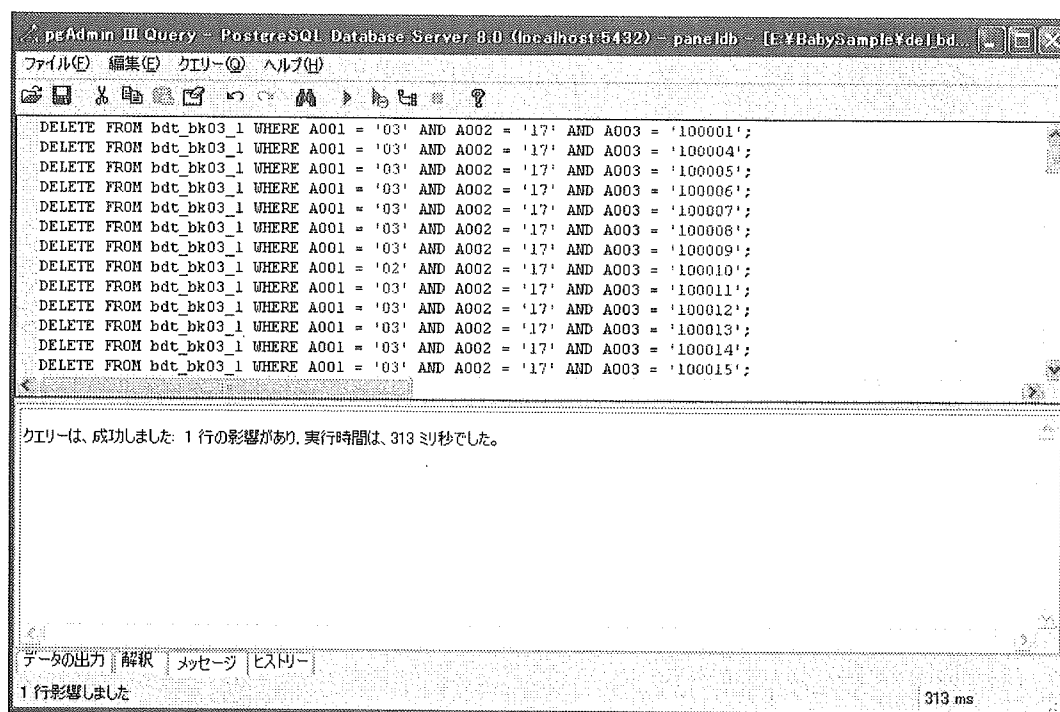


● 図6-2-1 [pgAdminIII Query] ウィンドウ [ファイル] - [開く]



● 図6-2-2 [クエリーファイルを開く] ダイアログ

[クエリーの実行] ボタンをクリックし、表示された DELETE 文を実行します。



● 図6-2-3 [pgAdminIII Query] ウィンドウ クエリーの実行